

中学1年理科 植物の世界

1 花のつくりとはたらき① 「花のつくりとはたらき」



野山や田畑，校庭や通学路などの植物を見ると，花をつけているものがあります。それぞれの花の形や色はさまざまです。花のつくりとはたらきについて学んでいきましょう。

?

- (1) 花には，共通するつくりがあるのだろうか。
- (2) めしべのものはどうなっているのだろうか。

花はみんな同じかな？



観察1 いろいろな植物の花のつくり

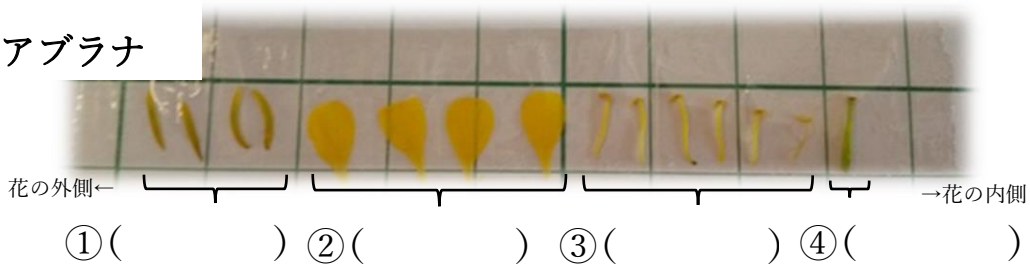
<方法>

- (1) いくつかの種類の花を外側から順に分解して，工作用紙やノートに貼り付ける。
- (2) いくつかの種類の花のめしべのものとふくらんだ部分を切って，断面を観察する。

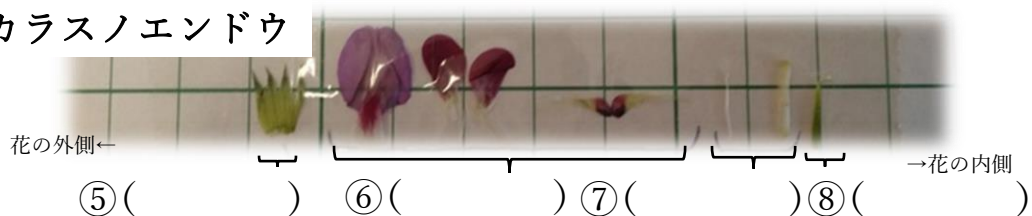
<結果>と<結果からいえること>

- (1) 花を分解した結果

●アブラナ



●カラスノエンドウ



花のつくりは，外側から順に，⑨()，⑩()，
⑪()，⑫()があるものが多い。
しかし，その数や形は，花の種類によって違いがある。

(2) めしべのふくらんだ部分を切って観察した結果

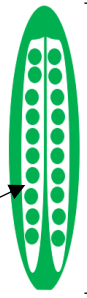
【アブラナの例】

横に切った断面



ふくらみ

縦に切った断面



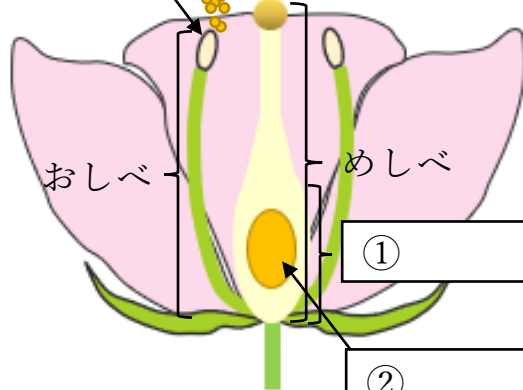
ふくらみ

小さい粒

花のめしべのふくらんだ部分を切りと、中に小さい粒があった。しかし、その数や形は、花の種類によって違いがある。

<まとめ>

やく (おしべの先端) 花粉 柱頭 (めしべの先端)

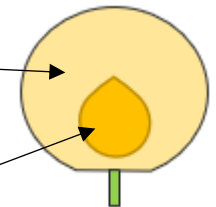


①

③

②

④



- 花のめしべのふくらんだ部分を⑤ (), ⑤の中にある小さな粒を⑥ () という。
- やくの中の花粉が柱頭につくことを⑦ () という。
- 受粉すると、子房が成長して⑧ () になり、子房の中の⑨ () は、⑩ () になる。
- アブラナやサクラのように、種子をつくる植物を⑪ () という。